

DAQ-Middleware  
トレーニングコース(2012年)  
@KEKつくば  
アンケート結果

千代浩司

## Q.1 トレーニングコース開催を何で知りましたか？

1. OpenItホームページ
2. 各種メーリングリスト(よければメーリングリスト名: )
3. その他( )

1: 3名

2: 3名(中性子科学会、核談、ミュオン関係の実験コラボレーション)

3: 6名(同僚から。職場での案内。現在の職場の上司からの紹介。大学教授のお誘い。担当教授の勧めより。上司の勧め)

## Q.2 講義を受講してDAQ-Middlewareに興味を持ちましたか？

1. 持たなかった
2. 持った
3. とてももった

1: 0

2: 8

3: 4

## Q.3 講義内容のレベルをどう思いましたか？

1. とても低い
2. 低い
3. ふつう
4. 高い
5. とても高い

1: 0

2: 0

3: 5

4: 6

5: 1

#### Q.4 説明はわかりやすかったですか

1. とてもわかりにくい
2. わかりにくい
3. ふつう
4. わかりやすい
5. とてもわかりやすい

1: 1

2: 1

3: 3

4: 7

5: 0

#### Q.5 講義内容は今後役にたつと思いますか？

1. 思わない
2. 思う
3. とても思う

1: 0

2: 5

3: 7

#### Q.6 来年も開催されるとしたら、同僚、後輩などのかたにすすめたいですか？

1. まったく勧めない
2. 勧める
3. とても勧める

1: 0

2: 7

3: 4

未記入1

## Q.7 わかりにくかった内容や聞きたかった内容があれば教えてください。

- 状態遷移に関してもう少し詳しく説明がほしかったです。たとえば聞き逃したかもしれませんがある状態のときの関数を繰り返すはなにを基準に繰り返されるのかなど
- DAQ-Middleware1.1技術解説書の仕様に関する記述について。
- RTMライブラリで記述されるクラスでDAQ側で使用するものは何なのか。
- 実習前の講義が長すぎるように思う。
- 自分のC++の知識が不十分な点もあり、そのあたりが難しかった。
- 現在の運用例についての説明がほしかったです(概略ではなくてもう少し詳細な部分があるといいと思います)
- 実習における質問には丁寧にお答えいただいたが、概要や開発内容についてもう少し詳しく聞きたかった。
- 実際の検出器を使った具体的なデータ収集の例があるとなおよいと思います。
- 特になし
-

## Q.8 今後のご要望、ご意見、その他ご自由にお書きください。

- 1から10まででなくてもプログラムに関して詳しい説明があったらよかったです。
- 時間がかかってもよいので全員一緒にプログラムを書くところを全部でなくてよいのでやってほしいです。
- OpenRTMのドキュメントにDoxygenを使用したドキュメントがあるのでDAQライブラリのクラスリファレンスも同様にあればソースコードの読み込み時の手間が軽くなりそうに思いました。
- 実習をある程度ガイドしてから(1hourくらい)自由な時間にしてほしい。また実習がある程度進んだ段階で細かい講義をするほうが効果的だろう。
- 実機によるシミュレーション体験等があるといいと思います(シミュレータではイメージがわからないと思うので)
- すこし話が速いので、休みながらと、もう少し実用的な例があるとよいと思いました。
- CAMACなどモジュールを接続する際のデータ処理コンポーネントの一例などを説明の折にいれていただきたい。
- 丁寧に教えて頂きありがとうございました。
- マニュアルが大変丁寧に書かれており助かりました。
- メッセージ一覧、エラーコード一覧などあれば開発マニュアルに載せてほしい。
- 大変勉強になりました。新たな利用者としては、ロジック回路に相当するSampleが充実すると開発が進めやすいと思いました。(Labviewのイメージ)。どうぞよろしくお願い致します。